学校部活動から地域クラブ活動へ

～ すべての生徒の多種多様な活動機会を保障する《佐野モデルⅡ》～

令和８年10月8日　佐野市教育委員会教育総務課

佐野市の部活動改革は新たな段階へ

前号でも紹介したとおり、本市では「部活動地域移行推進計画《佐野モデル》」（以下、《佐野モデル》）に基づき、部活動改革を進めております。

このような中、文部科学省は昨年12月に「部活動改革及び地域クラブ活動等に関する総合的なガイドライン」（以下、「国の新たなガイドライン」）を策定し、令和８～13年度を改革実行期間として全国的な**部活動の地域展開**を推進する方針等を示しました。

これを受け本市では、《佐野モデル》に続く**新計画「部活動地域展開推進計画《佐野モデルⅡ》（以下、《佐野モデルⅡ》）※」**を策定し、部活動の地域展開を一層拡大していくこととしました。

そこでまずは、部活動改革について、確認します。

※《佐野モデルⅡ》は現在パブリックコメント実施中です。

部活動改革はなぜ必要？

そもそも部活動改革（学校部活動の地域移行・地域展開）がなぜ必要か、改めて確認します。

☆学校部活動には様々な教育的意義があります

生徒の自主的・自発的な参加により行われる学校部活動は、生徒のスポーツ・文化芸術等に親しむ機会を確保するとともに、自主的で多様な学びの場として、**様々な教育的意義を有し、学校教育において大きな役割を担ってきました。**

具体的な例としては、

〇スポーツの楽しさや喜びを味わい、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を育てる。

〇体力の向上や健康の増進、感性・創造性・表現力の育成につながる。

〇自主性、協調性、責任感、連帯感等を育成する。

〇自己の力の確認、努力による達成感、充実感をもたらす。

〇互いに競い、励まし、協力する中で友情を深めるとともに学級や学年を離れて仲間や指導者と密接に触れ合うことにより学級内とは異なる人間関係の形成につながる。



など様々です。

★一方、多くの課題があります

様々な教育的意義を有する学校部活動ですが、その取り巻く環境の変化から、課題が山積し、持続可能性という面で厳しさが増しています。

（具体的には次項）

★学校部活動を取り巻く厳しい環境

●深刻な少子化の進行

急激に少子化が進み、学校の規模が小さくなる中、１つの学校だけでは、チームを組めず大会に出場できない、チームスポーツを中心に日常の活動そのものが難しくなっているといった課題も生じています。

●学校における働き方改革

学校における働き方改革の必要性が高まる中、学校の教職員のみに頼る指導体制は維持できなくなってきています。

●生徒のニーズの多様化

生徒のニーズは多様化してきており、現行部活動では十分な対応ができない状況となりました。

地域の多様な人材や専門的知見を活用し、地域全体で関係者が連携して支える必要があります。



学校部活動を取り巻く環境の変化を踏まえ、**将来にわたりすべての子供たちが継続的にスポーツや文化芸術活動に親しむ機会を確保すること**などを目的として、部活動改革が始まりました。

その手立ての一つが、**学校部活動の地域展開**（当初の呼称は「地域移行」）です。

これは、**生徒のスポーツ・文化芸術活動を学校も含めた地域全体で支える地域クラブ活動に展開**することで、学校部活動が担ってきた教育的意義を継承・発展させつつ、新たな価値を創出し、より豊かで幅広い活動に進化させるものです。

今号では、部活動改革の基本的な考え方について整理しました。次号では、学校部活動の地域展開について詳しく確認します。

なお、本市の部活動改革については、佐野市のホームページにも情報が掲載されています。部活動地域展開の進捗状況などの情報を随時掲載していきます。

★本事業についての問い合わせ　佐野市教育委員会教育総務課　TEL　0283(20)3106